

りんご研究所ニュース

No.86
2019.9.30

令和元年度

参観デー

【黒石会場】

本年度、りんご研究所の参観デーは、黒石会場では9月5日(木)と6日(金)の2日間開催されました。両日も、すつきりとした晴天に恵まれ、約5,000名の来場者がありました。



りんご講演会

「最近話題の病害」と題して、近年、話題の黒星病をはじめ、うどんこ病及び褐斑病について、そのほか、「温暖化による着色不良に対する施肥アプローチ」と「高品位加工りんごの現状と課題」についても講演しました。

りんごの試食と
ミスりんごあおもり



品種開発部では昨年品種登録された新品種「紅はつみ」などの試食及び販売を行いました。高温年でも「つがる」よりも着色良好で、「落果防止剤不要」ということで「紅はつみ」に興味をもつ人が多かったです。

1日目の午後は恒例のミスりんごあおもりが来所し、試食のお手伝いをしました。

試食は「紅はつみ」以外にも、国の試験研究機関が育成



した「紅みのり」や秋田県果樹試験場が育成した「秋田紅ほっぺ」(秋田県内限定栽培品種)を供試しました。いずれの品種も今が旬(9月初め)であり、どの品種も味は好評でした。

ロボット草刈機実演会
 現在試験中のロボット草刈機の実演会を開催しました。この草刈機は、お掃除ロボットの「ルンバ」のように、園地内を自動で草刈りし、充電が必要になると、自分で充電ステーションに戻り、充電が完了すると再び園地内を自動で草刈りし



秋田紅ほっぺ



紅みのり



紅はつみ



ます。園主さんはその間、他の作業をすることができるので、うまく活用すれば省力化が期待できる機械です。初めて目にする機械に、参加された皆さんも興味深く見ていました。なお、販売は来年になる見込みです。

【五戸会場】

県南果樹部では、9月12日(水)に開催しました。

前日は雨の中での設営準備で翌日の天候が心配されましたが、開催当日は快晴に恵まれ、昨年度を上回る600名の来場がありました。

研修館では特別展示「おうとう「ジュノハート」ができるまで」のほか、研究成果のポスター掲示、各種果実等の展示を行いました。果樹栽培相談コーナーでは、農業者や庭先農家の相談に研究者が対応していただきました。

試食コーナーでは、日本なし「なつしずく」、西洋なし「ジェイドスイート」、「オーロラ」や黒石圃場で選抜され品種登録されたりんご「紅はつみ」を提供し、来場者に好評でした。
 また、本年度はブルーベリー圃場でオウトウシヨウジョウバエについての講演会を行いました。

